

国難と云ふも一方には第一銀行に格五万円の預金を有し、幾万円の流通資金を
 擁する故に眞実国難ではないと言明して居るではないか
 此請及より、單に自己の利益を、より多く貪らんが爲め、不安に満ちる現
 社会に多数の失業者を投出せんとするが如き、社会正義を知り責任を感じず
 る人間の多き態度であらうか
 我等は如斯き態度を取て、して居るとして恥じない暴虐ふる資本家に対
 し飽くまで厭いがある、
 茲に其の眞相を公表し賢明なる請及に公正なる批判を仰ぐべきに在るに
 する歎ひを宣するものがある

昭和二年一月廿三日

日本労働總同盟

東京鉄工組合

アポロ鉄工場争議国員一同

上戸塚官舎二八、(省線高野馬場下車)



寫

第 884 号

昭和二年一月二十八日

警視總監 宮田 光雄

内務大臣 鈴木喜一郎殿
 社會局長 官 殿

アポロ鉄工所労働争議ニ関スル件 (第三報解決)

標記争議ハ東京鉄工組合主席原第一職工代表松本茶
 壽外四名ヨリ工場主ニ対シ解雇職工ノ復職方ヲ求メ
 交渉中ナリシガ工場主ノ容ル、折トナラズ形勢一時險
 悪ノ兆アリタルニ職工側ハ復職ノ上全賃解雇ヲ承認シノ